



RENKEI

第26号

発行元

松江市在宅医療・介護連携支援センター

TEL : (0852)61-3741 FAX : (0852)21-5377

メールアドレス : renkei@shakyu-matsue.jp

住所 : 〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

ホームページもご活用下さい ▶▶▶

松江市在宅医療介護

検索

令和5年度 第3回「松江市病病連携推進会議」

松江・安来市内12病院の入退院支援担当職員の間／第3回「松江市病病連携推進会議」を2月8日(木)に開催しました。

今回は、2022年に作成しました病床機能を示す『病床の役割を知っていますか?』リーフレットについて検討しました。2022年度版は、「文字が多く読みにくい」「内容が難しい」などの問題がありました。また、地域の方の病床機能の理解について「まだ理解が進んでいないと感じる…」「もう少し説明が必要かも…」などの意見があり、2022年度版を改定することになりました。

改定にあたり、会議の中で活発な意見交換がありました。

文字が多いので、
シンプルにした方が
良いのではないかな。

各病院のホームページ
に飛べる二次元コード
を配置してはどうか。

松江市周辺病院マップ
を載せてはどうか。

同様機能の病院の違い、特色
(特に慢性期)があると良いの
ではないかな。



医療機能について

急性期

急性期病院とは、緊急で命を救うことが必要の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、救命・手術などの救急、高度・専門治療を受け持っている病院です。

慢性期

回復期・慢性期病院とは、急性期病院の治療がひと段落し、全身状態は安定してきたけれど、治療の継続やリハビリテーションが必要な患者さんが入院する病院です。

松江市周辺病院マップ

① 松江市立病院
〒692-60-0001

② 松江市立病院
〒692-60-0001

③ 松江市立病院
〒692-60-0001

④ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑤ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑥ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑦ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑧ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑨ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑩ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑪ 松江市立病院
〒692-60-0001

⑫ 松江市立病院
〒692-60-0001

医療機関の役割

最近では、病みだにひとつの病院にずっと入院できなくなりました。

それも、入院するとすぐに退院の話が出て、びっくりしたわ。

病気になったとき、どの病院へ行けばいいかわからないなあ。

お悩み解決のヒント

医療機関には、診療科と病棟があります。診療所は、かかりつけ医として日常の在宅医療を支えています。病院は、急性期、回復期、慢性期といった治療経過によって役割を分担しています。

松江市在宅医療・介護連携支援センターにて配布しております。
市民の方々へ入退院支援についての説明などにお役立てください!!



～病院と地域～

今回から「つなぐ」シリーズをスタート!!当センターの役割は医療・介護・福祉・地域の方をつなぐことです。毎号「つなぐ」取り組みをご紹介します。初回の「つなぐ」は急性期病院と、松江市地区社会福祉協議会会長です。

当センターに、
松江市社会福祉協議会地域福祉課
コミュニティーソーシャルワーカーから相談がありました。
地域の方から「最近の病院はそれぞれどのような役割を持っているのか知りたいので、話してくれるお医者さんはいませんか？」という声があがりました。
そのため、講演会に必要な人材を確保する運びとなりました。



- 1 当センターより松江赤十字病院に相談。
- 2 大居院長が地域の方へ講演(11月)
テーマ:「病床機能に応じた当院の役割」
- 3 松江市社会福祉協議会地域福祉課の提案にて地区社会福祉協議会会長会にて講演(1月)
- 4 講演会好評につき、松江市地区社会福祉協議会29地区のうち、半数から講演を希望する声が上がりました!



松江赤十字病院 大居院長



松江市地区社会福祉協議会会長会

まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会研修会

非がん疾患の協働意思決定 ～神経疾患を例として～



令和6年3月6日、まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会／主催：医療・介護関係者向け研修会を開催しました。国際医療福祉大学市川病院 脳神経内科部長／国際医療福祉大学医学部 教授の荻野美恵子先生をお迎えし、非がん疾患の協働意思決定についてお話いただきました。当日は多くの医療・介護関係者のみなさまと一緒に、意思決定、アドバンス・ケア・プランニングについて学びました。



松江市消防本部と 今年度の振り返りをしました

松江市内は高齢者施設が増えてきており、施設から救急搬送される件数も増加しています。もしもの時に、施設の職員があわてず情報収集を行ったり、搬送先の病院が必要な情報を受け取ることが出来るよう、救急車を利用する際に役立つ「**救急車チェックシート**」を松江市消防本部とともに検討し、松江市内の高齢者関連の施設に周知しています。今年度の振り返りでは主に「**救急車利用チェックシート**」利用状況の評価を行いました。

施設アンケートより

当センターが提示した「**救急車利用チェックシート**」は、50%あまりの施設が使用しており、施設独自で作成したシートを使用している施設が、25%あまりでした。その結果より、75%以上の施設が救急時対応準備ができていることが分かりました。

また、松江市消防本部より、救急時の状況から「**救急車利用チェックシート**」は、

- ▶ 搬送時間短縮に有効
 - ▶ 情報の聞き間違いが少ない
 - ▶ 情報伝達がスムーズにできる
 - ▶ 情報収集を一方的に聴取するのではなく、情報を補うのみになるので、情報収集が短時間で済む
- 等、救急時の混乱対応に役立っている、との報告がありました。

「救急車利用チェックシート」の修正検討

施設調査の結果、服薬状況欄が書きにくい等修正の希望がありましたので、修正し改定しました。

新しい救急車チェックシートは
当センターホームページに掲載しています。



▶▶▶ アクセス方法：松江市社会福祉協議会 >
松江市在宅医療・介護連携支援センター >
救急対応に関すること

救急車利用チェックシート	
患者さん情報（事前記入欄）	
【ふりがな】	記入日： 年 月 日
【氏名】	性別 ☐ 男性 ☐ 女性
【生年月日】	年 月 日 年齢（ 歳）
【住所】	
【既往歴】	
【現病歴】	
【服薬状況】	☐ 抗凝固剤 ☐ インスリン ☐ 降圧剤 ☐ その他（ ）
【アレルギー】	☐ 無 ☐ 有 有の場合（ ）
【普段の様子】	☐ 支援なし（認定申請未も含む） ☐ 要支援1 ☐ 要支援2 ☐ 要介護1 ☐ 要介護2 ☐ 要介護3 ☐ 要介護4 ☐ 要介護5 【特記】
【主となる家族等】	氏名（ ） 続柄（ ）
【家族等の連絡先】	電話（ ）
【かかりつけ医】	（ ） 病院・医院（ ） 医師
【搬送希望医療機関】	病院名：
救急要請時記入欄 ※記入できなかった場合は、口頭で救急隊へお伝えください。	
最終健康時刻	時 分 ※ 院内治療で必要になる場合があります。
※ 準備してほしいもの	
※ 搬送手帳か薬の写物	
【測定時刻： 午前・午後 時 分】	
呼吸： 回/分	脈拍： 回/分 血圧： /
体温： °C	SPO2： % 酸素（ ）
救急車への施設職員等の同乗について	
○ 搬送先医療機関での早期治療に繋ぐため、救急車への同乗にご協力ください。	
○ どうしても救急車に同乗できない場合は、施設の連絡先と担当者氏名をご記入ください。	
医療機関から問い合わせがあった場合は、詳細な情報を伝達してください。	
施設名：	施設連絡先：
担当者：	
*本記録表は、救急要請以外に使用しません。救急搬送終了後に、救急隊が責任をもって廃棄いたします。	
*救急要請時に本記録表を使用することを、予め、患者・家族の了承を得ておきましょう。	
【松江市消防本部】	



インフォメーション

01

訪問リハビリテーション、松江市内高齢者施設医療等対応情報一覧を更新しました！

02

NEW!! 通所リハビリテーション事業所一覧を掲載しました!!

医療・介護関係者のみなさまにご好評いただいております松江市内高齢者施設医療等対応情報一覧を今年度も更新いたしました。

また、医療・介護関係者のみなさまのニーズに応じ、今年度から通所リハビリテーション事業所一覧を作成いたしました。介護支援専門員のみなさまや地域包括支援センター相談員のみなさまにご協力いただき、調査用紙を作成しました。

リハビリテーションの配置はどうなっているの？

半日利用は可能ですか？

入浴サービスはあるの？



等、知りたい情報が掲載されています!! 是非ご利用ください。

▶▶▶ アクセス方法：松江市社会福祉協議会>松江市在宅医療・介護連携支援センター>訪問看護・訪問リハ・通所リハ・高齢者施設情報一覧

03

「医療機関と地域の連携方法一覧」を改訂いたしました。

松江市内(安来市内一部含む)病院と地域の医療・介護関係者が、スムーズに連携できるよう医療機関(病院)の連絡・相談先をまとめたものです。令和6年2月に改定いたしました。ご活用ください。ホームページからダウンロード可能です。

▶▶▶ アクセス方法：松江市在宅医療・介護連携支援センター>病院機能・地域連携に関する資料／医療・介護情報

医療機関と地域の
連携方法一覧

令和6年2月

当センター開設から7年間 本当にありがとうございました

この度、令和6年3月31日付にて、退職させていただく事となりました。

在宅医療・介護連携推進事業の一環として、平成29年の当センター設立当初から関わらせて頂き、皆様のご協力に感謝申し上げます。新型コロナ感染拡大に伴う活動への戸惑いがあった時期もありましたが、皆様の医療・介護に対する熱い姿勢に支えられ続けました。

来年度、構成員は変わりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



脇田 和子